

30

加藤昌則の 周年フェス

30th Debut Anniversary Concert

フェスⅠ
2026
9.25 金
19:00開演 (18:30開場)

出演者

加藤昌則 (作曲・ピアノ)
成田達輝 (ヴァイオリン)
安達真理 (ヴィオラ)
笹沼樹 (チェロ)

プログラム

加藤昌則:
燐る煙と共に [VL.&Pf.]
Sonata Gioconda [VL.&Pf.]
花詠み人 [Vc.&Pf.]
献舞三奏 [VL.&Vc.&Pf.]
夜のソナタ [Vc.&Pf.]
未在の庭 [Va.&Pf.]
Agura-Catabra [Piano Quartet]

Friday, 25 September, 2026,
7:00 p.m. at Hakuju Hall

フェスⅡ
2026
10.23 金
19:00開演 (18:30開場)

出演者

加藤昌則 (作曲・ピアノ)
福田進一 (ギター)
村治奏一 (ギター)
石上真由子 (ヴァイオリン)
福川伸陽 (ホルン)

プログラム

加藤昌則:
Breezing Air [VL.&Pf.]
Un-Hornism [Hrn.&Pf.]
天上宴楽 [VL.&Hrn.&Pf.]
幻想的ソレア (改訂版初演) [Gt. Solo]
名もなき5つの手紙 [Gt. Solo]
琴歌譜 (改訂版初演) [Gt. Duo]
ほか

Friday, 23 October, 2026,
7:00 p.m. at Hakuju Hall

会場 **HAKUJU HALL**

入場料 両日とも 全席指定 7,000円 2公演セット券13,000円 ※teketでのみ発売

チケットお申込み

- イープラス <https://eplus.jp/PC&携帯> ●チケットぴあ <https://t.pia.jp/PC&携帯> (Pコード: 324-920)
- ローソンチケット <https://l-tike.com/PC&携帯> (Lコード: 33805) ●teket(テケット) <https://teket.jp/15172/68283>
- Hakuju Hall オンラインチケット予約 <https://hakujuhall.jp/concerts/ticket>



主催・お問合せ: AMATI TEL: 03-3560-3010 〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-5-5103 <https://www.amati-tokyo.com>

共催: Hakuju Hall / 株式会社 白寿生科学研究所



1996年6月4日。書き溜めた自分の作品だけで初めて自演の公演を開いたのはこの日でした。まだ大学院生。当時としては恩師に促されたとはいえ、大それたことをしたと思っていますが、思えばこの自作自演のコンサートから自分の本格的な活動は始まりました。自作自演をしたことで、ピアノさえあれば僕は身一つでどこでも自分の作品を披露することができましたし、ピアノさえあればどんなシチュエーションでも、初めて会う異国のの人達と演奏で交流することもできました。たくさん
の名曲があるこの世界で、新しい作品を生み出すのは、挑戦的で照れ臭い気もします。ですが、これまでも今も、素晴らしい音楽家達と交流でき、そんな財産を持てるのは、自作と自演があったからだと思うのです。「挑戦的で照れ臭い」この気持ちは変わらずありますが、30年という長い時間で得られたこの財産が、今回こうして音楽家達と集う機会を与えてくれて、そこで生み出す音楽と時間は今が最適なタイミングなのではないかと思ひましたし、これまで様々な機会を僕に与えてくれたHAKUJU HALLで披露したいと考えました。今回演奏する自作品は、これまで様々な演奏家に再演されてきた作品が主です。そんな果立った作品は自分の想像以上な世界が生み出され、稀有な刺激も味わいました。そんな刺激を味わっていただきたい自尊心も正直あります。それも30年という時間の産物なのかもしれません。この豪華な演奏家達との加藤祭。皆様の今年のイベントの1つに加えていただけたら幸いです。

加藤 昌則



加藤 昌則 (作曲・ピアノ) Masanori Kato, composer / piano

東京藝術大学作曲科首席卒業、同大学大学院修了。作品のジャンルはオペラ、管弦楽、声楽、合唱曲など幅広く、作品に新しい息吹を吹き込む創意あふれる編曲にも定評がある。福田進一、藤木大地、福川伸陽、三浦友理枝、奥村愛など多くのソリストに楽曲を提供しており、共演ピアニストとしても評価が高い。

王子ホール「銀座ぶらっとコンサート Caféシリーズ」(企画・ピアノ)、横浜市栄区民文化センター リリス「リリス藝術大学クラシック学部」(企画・ピアノ)、長野市芸術館「加藤昌則のぶっとび!クラシック」(企画・ピアノ)など独自の視点・切り口で企画する公演やクラシック講座などのプロデュース力にも注目を集めている。作品は2012年オペラ「白虎」(第11回佐川吉男音楽賞受賞)、2018年「Sixteenth Montage」(セントラル愛知交響楽团委嘱作品)ほか、数多くの作品を発表。NHK2020応援ソング「パプリカ」の合唱編曲も手掛けている。最新CDは2017年発売「PIANO COLOURS」(エイベックス・クラシックス)。

2016年4月よりNHK-FM「鍵盤のつばさ」番組パーソナリティーを担当。長野市芸術館レジデント・プロデューサー(2019-2023)。2022年4月よりひらしん平塚文化芸術ホール 音楽アンバサダーを務める。

9.25 [金] フェスI

加藤から一言コメント 少なくとも僕以上にクリエイター。卓越した技術と個性が常に作品を飛躍させる



成田 達輝 (ヴァイオリン)

Tatsuki Narita, violin

2010年ロン＝ティボー国際コンクール第2位、2012年エリザベート王妃国際音楽コンクール第2位。著名指揮者および国内外のオーケストラと多数共演し高い評価を得るとともに、リサイタルやジャンルにこだわらない様々なアーティストとの室内楽においても圧倒的なテクニックと多彩な表現力を披露している。現代作曲家とのコラボレーションも積極的に行っており、2022年9月には坂本龍一のプライベート録音に参加し「ソナタ」等を演奏。使用楽器は、A.ストラディヴァリ黄金期の「Tartini」1711年製(京次コレクションより貸与)。

加藤から一言コメント ヴィオラの未知の表現世界を教えてください。そしてそのきっかけの一つが自作品



安達 真理 (ヴィオラ)

Mari Adachi, viola

4歳よりヴァイオリンを始め桐朋学園大学在学中にヴィオラへ転向。卒業後、同大学研究生修了。ウィーン国立音楽大学室内楽科を経てローザンヌ高等音楽院修士課程(最高点)、同院ソリスト修士課程修了。霧島国際音楽祭特別奨励賞・優秀演奏賞、ウィーン国立音楽大学国際夏期アカデミーソリスト賞、カール・フレッシュ・アカデミー同協会賞、特別賞受賞。元インスブルック交響楽団副首席奏者。2021年日本フィルハーモニー交響楽団客演ヴィオラ首席に就任。主な録音に「J.S.バッハ:組曲&パルティータ」、平野一郎「二十四氣」がある。https://www.mariadachi.com

加藤から一言コメント 颯爽としているが、情熱の演奏は異彩であり魅力。献舞三奏はまさにその産物



笹沼 樹 (チェロ)

Tatsuki Sasanuma, cello

学習院大学卒業後、桐朋学園大学大学院修了。パリ・エコールノルマル音楽院、ベルギー・エリザベート王妃音楽大学アーティスト・イン・レジデンスにて研鑽を積む。全日本学生音楽コンクール第1位(2011年)。ARDミュンヘン国際音楽コンクール室内楽部門で第3位入賞及び特別賞(2016年)。第20回斎藤秀雄メモリアル基金賞受賞(2022年)。東京交響楽団、東京都響、新日本フィル、日本センチュリー交響楽団、スロヴァキア・フィル等国内外のオーケストラにソリストとして出演。M.アルグリッチ、J. ヴィットマンといった世界的アーティストと共演し、室内楽奏者としても活躍の幅を広げる。V.アダムーラ、古川展生、堤剛、H.ドゥマルケット、J.ベルノー各氏に師事。室内楽を磯村和英、大山平一郎、山崎伸子各氏に師事。ラ・ルーチェ弦楽八重奏団、カルデット・アマービル、Trio Rizzleのメンバー。

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお買い求め下さい。

①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。③演奏中は入場できません。④未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑦ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

10.23 [金] フェスII

加藤から一言コメント 兄貴分のような、師匠のような、ギターに導いてくれた恩人。そして楽しさ呑み人



福田 進一 (ギター)

Shin-ichi Fukuda, guitar

1981年パリ国際ギターコンクールでグランプリ優勝。以後40年以上に亘り、ソロ・リサイタル、主要オーケストラとの協演、超一流ソリストとの共演を続け、ボーダーレスな音楽への姿勢は世界中のファンを魅了している。ディスコグラフィは既に110タイトルを超える。2025年12月には「福田進一70歳記念コンサート」として2DAYS公演を開催。平成19年度「外務大臣表彰」受賞。平成23年度芸術選奨「文部科学大臣賞」受賞。日本ギター連盟 名誉理事。

加藤から一言コメント こういう機会だから初共演もしてみたい。お姉さんの委嘱作を磨いてもらいます



村治 奏一 (ギター)

Soichi Muraji, guitar

1998年第41回東京国際ギター・コンクール他数多くのコンクールで優勝。2008年、米国マンハッタン音楽院を卒業し、同年モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団の「新世界ツアー」にソリストとして抜擢。以降、様々なツアー、リサイタル、室内楽をはじめ、NHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団ほか国内外のオーケストラとの共演や、多数のメディア出演、テーマ曲の作曲・演奏など多彩に活躍。近年は大規模言語モデルを利用した自身の分身AI「A.I.村治奏一」を公開し、ファンとの交流を深めて話題になっている。また、地元東京台東区の観光大使を務めるなど、音楽の枠を超えた活動にも意欲的に取り組んでいる。

加藤から一言コメント もはやヴァイオリンに収まらないこの表現者の世界は、書き手にも様々な発想を与える



石上 真由子 (ヴァイオリン)

Mayuko Ishigami, violin

日本音楽コンクール等、国内外で受賞多数。題名のない音楽会、NHKクラシック音楽館等メディア出演多数。東響、都響、読響、日本フィル、ブラショフ国立響など内外で多数のオーケストラと共演。長岡京室内、アンサンブル九条山メンバー。ポラリス国際音楽祭アドバイザー。Ensemble Amoise主宰。Music Dialogue、CHANEL室内楽、おんかつ支援アーティスト。京都市芸術新人賞、音楽クリティック・クラブ賞、大阪文化祭賞、青山音楽賞、藤室音楽賞、京都府文化賞受賞。京都府あげばの賞受賞。日本コロムビア、ALTUS、キングレコード、ワオレコードよりCDをリリース。www.mayukoishigami.com

加藤から一言コメント 作曲家にとって楽器の名手は財産であり、必須の存在。この人あっての我がホルン作品



福川 伸陽 (ホルン)

Nobuaki Fukukawa, horn

世界的に活躍している音楽家の一人。NHK交響楽団首席奏者としてオーケストラ界にも貢献した。ソリストとして、NHK交響楽団、パドヴァ・ヴェネツィア管弦楽団、京都市交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団他と共演。ロンドンのウィグモアホールをはじめ、ロサンゼルスやブラジル、アジア各国でリサイタルをするなど、世界各地から数多く招かれて

いる。東京音楽大学准教授、国際ホルン協会評議員。www.mayukoishigami.com